

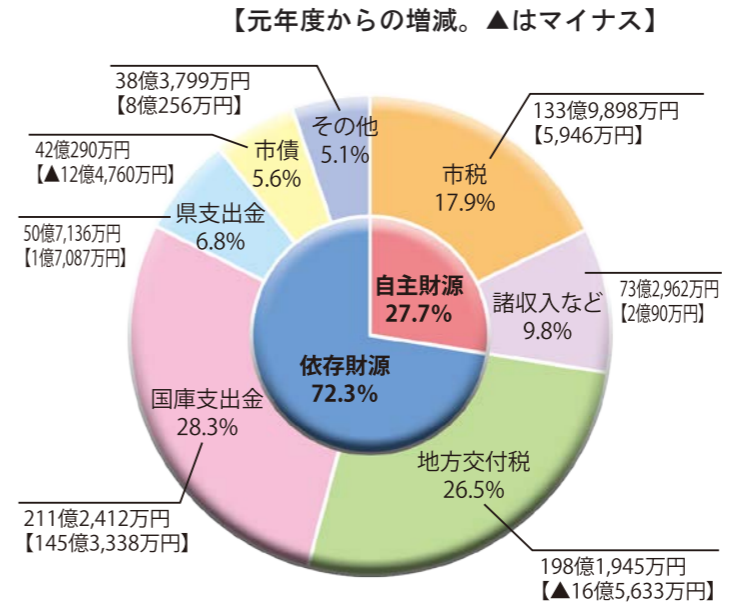
決算

市は、市税や地方交付税などを財源にして予算を編成し、市民生活の向上などのための事業に取り組んでいます。2年度の決算は、歳入から歳出を差し引いた13億3,279万円（一般会計と特別会計の合算）から繰り越しのための財源を差し引くと、実質収支額は7億2,846万円の黒字となりました。

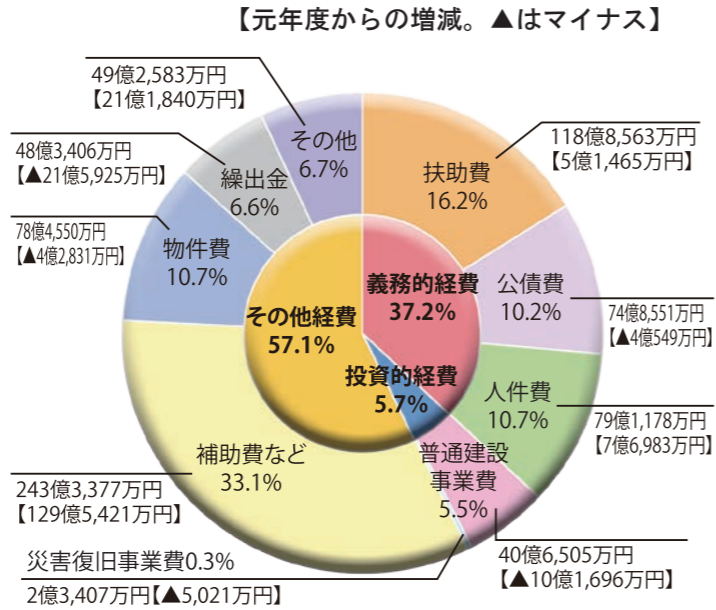
9月定例議会において、2年度の決算が認定されたことから、概要をお知らせします。詳細は、市ホームページをご覧ください。

お問い合わせ先 本庁財政課財政係（☎34-1766）
市ホームページ

歳入（一般会計） 747億8,442万円【128億6,324万円】



歳出（一般会計） 735億2,120万円【122億9,687万円】



企業会計

民間企業と同じように事業で収益を上げて運営している会計です。奥州市には、水道

と下水道、病院の3つの公営企業会計があります。資本的収支の不足分は、損益勘定留保資金などから補てんしています。

用語解説1

■自主財源：市税、使用料など地方公共団体が自らの権限で収入できるお金
■依存財源：地方交付税、市債、国庫支出金など国や県から入るお金
■義務的経費：支出が義務付けら

れていて、任意に削減できない経費（人件費、扶助費、公債費）
■投資的経費：道路や学校建設など、資本形成に支出される経費
■損益勘定留保資金：減価償却費などの収益的収支における現金支出を必要としないものを費用に計上することで留保される資金

◆企業会計決算額

会計名		収入	支出	収入支出差引額
水道事業	収益的	33億 980	31億 4,630	1億 6,350
	資本的	15億 5,233	27億 3,113	▲11億 7,880
下水道事業	収益的	34億 4,257	33億 7,309	6,948
	資本的	31億 5,409	38億 7,312	▲7億 1,903
病院事業	収益的	40億 4,348	44億 7,124	▲4億 2,776
	資本的	1億 9,679	2億 7,414	▲7,735

※収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みの金額

特別会計

特定の収入によって特定の事業を行い、その収支を明確にするために一般会計から独立させた会計です。奥州市には7つの特別会計があります。

◆特別会計決算額

会計名		歳入	歳出	差引	実質収支額 (繰越財源差引額)
国民健康保険	事業勘定	106億 4,676	105億 8,950	5,726	5,726
	直営診療施設勘定	2,653	2,602	51	51
後期高齢者医療		13億 3,703	13億 3,423	280	280
介護保険	保険事業勘定	124億 749	124億 56	693	693
	介護サービス事業勘定	9,377	9,377	0	0
浄化槽事業		3億 7,624	3億 7,525	99	99
バス事業		1億 706	1億 706	0	0
米里財産区		727	629	98	0
工業団地整備事業		1,429	1,419	10	0
合計		250億 1,644	249億 4,687	6,957	6,849

用語解説2

■実質赤字比率：普通会計（本市では一般会計とバス事業特別会計）の赤字の割合を示す指標
■連結実質赤字比率：普通会計と公営事業会計（公営企業会計と特別会計）を合わせた会計の赤字の割合を示す指標
■実質公債費比率：市の収入に

■将来負担比率：市が将来負担する債務などの額が、市の収入に占める割合を示す指標
■資金不足比率：公営企業の資金の不足額が、料金収入に占める割合を示す指標
■収益的収支：公営企業の1年間の営業活動に係る収入と支出
■資本的収支：公営企業の将来の営業活動に備えて行う設備投資に係る収入と支出

一般会計

一般会計は福祉、教育や道路・公園の管理など基礎的な行政サービスを行う会計です。市税は主にこの一般会計に使われています。

2年度の歳入は747億8,442万円、歳出は735億2,120万円、いずれも合併以後最大の決算額となりました。増額の主な理由は、特別定額給付金給付事業などの新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金の新設によるもので、補助費などが増となりました。これらの事業は財源の一部として、国からの補助金などが充てられています。

市民負担の状況

一般会計の2年度末地方債残高は643億4,607万円で、元年度末と比較すると29億5,629万円減少しました。また、特別会計や企業会計でもそれぞれ減少しており、市民一人当たりの将来負担は年々減少しています。

◆一般会計で実施した主な事業

＜人口減少に歯止めを＞	
奥州市まち・ひと・しごと総合戦略事業	1億 1,700
＜特色ある地域づくりの支援＞	
地域づくり推進事業	2億 1,373
＜学びのまちづくり＞	
江刺第一中学校屋内運動場改築工事	6億 5,780
＜環境にやさしいまちづくり＞	
ごみ及びし尿処理施設整備事業費負担事業	17億 5,345

◆地方債残高と市民一人当たりの負担額

項目名	2年度末	一人当たり	元年度末	一人当たり
一般会計	643億 4,607	56.4	673億 236	58.3
一般会計+特別会計	658億 4,586	57.7	1,021億 499	88.5
一般会計+特別会計+企業会計	1,137億 5,302	99.8	1,178億 3,088	102.1

※市民一人当たりの負担額は、各年度3月末の住民基本台帳による人口から算出

財政の健全化判断比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、市の財政の健全度を表す「健全化判断比率」と、公営企業の健全度を表す「資金不足比率」を算定し、公表することに基づいて、公表することに基づいて、2年度においては、「健全化判断比率」は国の定める基準を下回っており、「資金不足比率」は全ての特別会計で資金不足が生じませんでした。

◆奥州市の健全化判断比率

